

平成 23 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

財団法人 日本サイクリング協会

実施事業の概要

今日、サイクリングは、国民のスポーツ志向、健康志向及び地球温暖化に伴う環境保全の意識の変化により、人と環境に優しい自転車利用の関心の高まりを受けて、大きなブームを迎えている。

また日常生活でも自転車利用者が増加の傾向にあり、全国各地で自転車に優しい街づくりが進められるようになった他、観光施策としてサイクリングを取り入れる地方自治体も多くなった。

本協会はこのような状況を背景に、全国の都道府県サイクリング協会の協力のもと『快適なサイクリングを通じて、健康を増進し、自然との共生を図り地球環境保全、及び自転車に関連する交通事故を未然に防止するためのルール・マナーの遵守に努めること』を「楽しいサイクリング&正しいサイクリング」と表現し、このコンセプトを基調に自転車愛好者とともに積極的に活動を展開している。

特に平成23年度は、自転車利用者の増加に伴い自転車に関する事故が増加している問題に対し、本協会賛助会員にはサイクリストの模範となるよう、入会時に「JCAサイクリスト誓言」をしていただくとともに、平成23年度の各事業において「正しいサイクリング」のコンセプトを当該事業に応じた様々な形で反映させ実施した。

平成23年度は、本協会が目指すサイクリングの健全な普及発達を促進するため、各関係機関のご協力の下、(財)JK Aからの補助金及び、(一社)自転車協会からの助成金を得て事業を実施した。

なお、財団運営の基本事項を策定するため、理事会を4回及び評議員会を2回開催した。

◎公益事業振興事業（競輪補助事業）

1. 指導者の育成等事業

現在の自転車ブームの中にあって、自転車を取り巻く社会のニーズに応え、「正しいサイクリング」の普及を実践する質の高い指導者を養成するため、指導者制度に関する規程を一部改正し、時代に応じた指導者用テキストを200部整備してインストラクター養成講習会を各都道府県サイクリング協会と連携し、4道県協会・4会場で開催し、134名の指導者を養成した。(指導者数1,453名・平成23年度末現在)

2. サイクリング大会等の開催事業

安全・安心なサイクリング大会を全国規模で提供することによりサイクリング愛好者の拡大を図るため、サイクリング公認指導者を擁する各都道府県サイクリング協会と連携し、全国サイクリング大会1回、(参加者528名)、ブロックサイクリング大会6回(同1,188名)、県サイクリング及びサイクルスポーツ大会42回(同7,497名)を実施し、参加者にその楽しさを実感して貰うとともに、開催地

周辺の人々との交流を通じて全国の一般市民にもサイクリングへの関心を高め、マスコミに対してもサイクリングが注目を集めるよう普及啓発に努めた。

3. 特別普及奨励事業

増加する自転車愛好者の様々なニーズに応え、且つサイクリングイベントの模範、基盤となるよう、地方自治体等と協働し、シティサイクリング大会（同2,244名）、親子ふれあいサイクリング大会（同30名）、自然共生サイクリング（同258名）、耐久自転車競技大会（746名）を開催し、地域に根ざしたサイクリングの普及を図るとともに、広域に亘るサイクリング愛好者の参加を得ることにより、地域活性化を促進した。

なお、5月21日～22日に開催予定であった蔵王ヒルクライム大会は、東日本大震災の影響により、また9月2日～3日開催予定であったMt. FUJIエコサイクリング大会は、台風第12号の影響により、やむなく中止となった。

4. 自転車公園開場事業

都心の中心地である神宮外苑の周回コースを毎日曜・祝祭日（年間58回）に自動車の交通規制を実施して、自転車を無料で貸出し、サイクリングを楽しんで貰うとともに、児童・幼児等を中心に、乗り方教室を開催し、サイクリングの普及啓発に努めた。

また、四谷警察署と共催して春と秋の交通安全自転車教室の開催、地元商店会と連携した自転車関連催事の実施等、自転車に関する情報発信の拠点となるよう啓発活動をおこなった。（延べ利用者数63,707名）

◎機械工業事業振興補助事業（競輪補助事業）

1. 自転車乗用に関する調査研究事業

サイクリングを積極的に観光施策に取り入れている地方自治体等に対し、調査研究の結果による提言が具現化されるよう、平成23年度は地方自治体あるいは民間団体が中心となって作成したサイクリングマップ、レンタサイクルについて調査分析し、これらの在るべき姿を報告書に取りまとめて提言することにより、サイクリング環境の改善を図った。

2. 自転車に関する広報事業

自転車乗用人口の拡大を図るとともに、「楽しいサイクリング・正しいサイクリング」を広く普及するため、情報誌「サイクリングジャパン」を年4回発行し、サイクリングに関する様々な知識、情報や各種大会の案内・紹介をする他、国内自転車メーカー、部品メーカー等の自転車に関する情報を提供した。

特に平成23年度は、自転車に関するルールの詳細解説を連載し、車道走行時におけるスポーツバイクの安全な走り方を啓発した。

併せて、インターネットによる広報活動を行い、本協会の事業の普及を図るとともに、賛助会員の拡大に努めた。

◎自主推進事業

1. ブロック別連絡会議の開催事業

全国7ブロックに所属する各都道府県サイクリング協会の代表者と事業運営の改善のための意見交換、各種情報交換等を行うため、ブロック別に連絡会議を開催した。

2. 無料法律相談の開設

本協会に顧問弁護士を置き、賛助会員のサイクリングの諸活動、日常生活において生じるトラブルの法律的事案に関し、無料の相談室を開設した。

3. 指導者登録証作成交付事業

本協会が認定したサイクリングインストラクターの新規登録者及び登録更新者並びにサイクリングディレクター（1級・2級）の登録更新者に係る登録・更新を行うとともに、それらの者に対して登録証を発行した。

4. サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業

地域観光にサイクリングを取り入れ、初心者から上級者までが、安全に安心して参加できるサイクリングツアーの企画を旅行会社が推進できるよう、情報提供、自転車メンテナンス、走行管理、レスキュー体制、保険制度の充実等、スムーズな運営を確保するための基盤を整備した。

5. サイクリング普及推進事業

地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、地方協会が中心となって実施する計画事案に積極的に助言、指導を行った他、実施大会の参加者募集及び設営、受付等の開催業務を支援した。

6. 交通安全推進事業（自転車安全乗用教室等への講師派遣、）

自治体、小学校等の要請により、自転車の乗り方、自転車の交通安全等について、普及啓発するため、自転車安全乗用講習会、教室等に講師を派遣した。

7. 耐久サイクリング in 袖ヶ浦大会の開催事業

サイクリング普及推進事業の成果として、地元から要請のあった袖ヶ浦サーキットにおいて、本協会の長年に亘って蓄積されたサイクルスポーツイベント開催のノウハウを全て投入し、サイクルレースのビギナーからベテランまでを対象にし、新規の耐久サイクリング大会を開催した。

開催日は、3月11日の東日本大震災の影響を受け、当初予定の5月29日（日）を11月13日（日）に変更して開催した。

8. 賛助会員拡大推進事業

現在稼働中の賛助会員管理システムの基盤設備を強化することにより機能を有効に活用し、賛助会員の個人や法人単位以外に新たに団体等の賛助会員の入会対象を広げ、更なる賛助会員の拡大に努めた。

◎協力事業

1. 運営強化協力事業

(1) サイクリングターミナル関係事業

全国のサイクリングターミナルとの連携を保つため、全国サイクリングターミナル協議会を組織して本協会に事務局を置き、共同PRを推進するとともに、各ターミナルが抱えている諸問題や運営状況について情報交換を行った。

(2) サイクリングイベント関係事業

ア 全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会、美ヶ原高原自転車レース大会、時空の路ヒルクライム in 会津等の毎年行われる各大会の運営において、企画立案、財政面及び開催に対する技術面についての助言を行い、各実行委員会に人材を派遣し運営全般に関わる指導を行った。

イ JCA全日本ヒルクライムシリーズ運営事業

本協会が主催・共催する「日本の蔵王ヒルクライム・エコ大会」、「全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会」、「美ヶ原高原自転車レース大会」に秋田県由利本荘市矢島町が主催する「矢島カップ・Mt 鳥海バイシクルクラシック大会」の4戦中3戦に参加した者をクラスごとに順位付けし、チャンピオンとなった男女1名づつを翌年の8月末にハワイで開催される「サイクル・トゥ・ザ・サン大会」に招待する事業を「JCA全日本ヒルクライムシリーズ」として運営した。

2. その他の事業

自転車に関係する交通事故への関係者との連携を図るため全日本交通安全協会が主催する「自転車安全教育推進委員会」、「全国子供自転車大会」に出席した他、観光とサイクリングに関する情報収集のため、観光庁が推進する「スポーツツーリズム推進連携組織に関する勉強会」に参加した。

また、公益法人制度改革に伴い、昨年度に引き続き新法人への移行に向けて多方面からの情報収集等を行った。

なお、サイクリングイベントに関する後援、協力など本協会の名義使用の依頼については、提出の申請書類を審査の上、文書をもって名義の使用許諾を行った。

事業の実施内容

◎公益事業振興事業（競輪補助事業）

1. 指導者の育成等事業

(1) 指導者養成講習会の開催

新たにインストラクター資格を希望する者に指導者養成講習会を次のとおり開催実施した。(指導者数1, 453名・平成23年度末現在)

(実施地区 4道県協会 4回 延べ参加者数 134名)

協会名	実施日	実施場所	参加人員
北海道	平成24年 2月18日～19日	札幌市	26名
大阪	平成23年10月29日 30日	大阪府	30名
広島	平成23年11月 5日～ 6日	福山市	32名
沖縄	平成23年11月19日～20日	那覇市	46名

(2) 教材等作成・整備

サイクリングの普及啓発を図るための教材を整備増刷し、各都道府県サイクリング協会に配布した。

- ・指導用テキスト教材「サイクリングインストラクター・ディレクター養成講習会用サイクリング専門科目テキスト（追補版）」200部

2. サイクリング大会の開催事業

安全・安心なサイクリング大会を全国規模で提供することによりサイクリング愛好者の拡大を図るため、サイクリング公認指導者を擁する各都道府県サイクリング協会と連携し、各サイクリング大会を以下のとおり開催した。

(1) 全国サイクリング大会の開催

- ・開催日 平成23年10月22日～23日
- ・開催場所 三重県伊勢市周辺
- ・参加者数 528名

(2) ブロックサイクリング大会の開催

ブロック名	協会名	実施日	実施場所	参加人員
北海道	北海道	8月 6～ 7日	紋別市	264名
東北	青森	9月10～11日	黒石市	231名
関東甲信越	栃木	9月10～11日	益子町	223名
近畿	兵庫	11月12～13日	神戸市	142名
中国・四国	島根	10月 2～ 3日	出雲市	210名
九州	鹿児島	8月 6～ 7日	鹿児島市	118名
合 計				1,188名

(3) 県サイクリング及びスポーツ大会の開催

協会名	実施日	実施場所	参加人員
北海道	平成24年 8月28日	東十勝地区	139名
〃	6月12日	函館市周辺	53名
〃	8月21日	網走市周辺	128名
〃	9月25日	網走市周辺	100名
〃	9月11日	本別町周辺	110名
〃	10月 9日	紋別市周辺	112名
〃	6月12日	札幌市周辺	201名
〃	9月 4日	室蘭市周辺	176名
〃	10月 9日	釧路市周辺	88名
〃	6月19日	深川市周辺	100名
秋田	7月 3日	大瀨村周辺	166名
	9月 4日	角館町周辺	158名
岩手	7月16日	盛岡市周辺	80名
福島	10月 2日	猪苗代町周辺	156名
群馬	6月 5日	榛名山周辺	179名
埼玉	5月22日	行田市周辺	152名
東京	5月22日	外苑集中	171名
千葉	7月17日	成田市周辺	250名
〃	平成24年 3月 4日	館山市周辺	300名
〃	11月26～27日	君津市周辺	100名
新潟	6月25～26日	新潟市周辺	48名
静岡	5月15日	浜松市周辺	213名
〃	10月16日	御前崎市周辺	369名
三重	8月 7日	桑名市周辺	150名
福井	7月31日	福井市周辺	400名
京都	11月20日	京都市周辺	104名
〃	9月23日	綾部市周辺	382名
大阪	5月29日	—	中止
〃	平成24年 1月 8日	奈良市周辺	71名
和歌山	8月17～21日	和歌山市他	350名
〃	10月 2日	和歌山市周辺	80名
岡山	6月 5日	真庭市周辺	102名
島根	9月25日	益田市周辺	178名
香川	11月5～6日	小豆島島内	401名
愛媛	9月25日	松山市周辺	192名
徳島	10月16日	吉野川市周辺	490名
福岡	9月 4日	志賀島島内	276名
福岡	10月 2日	久留米市周辺	283名

佐 賀	9月25日	多久市周辺	133名
大 分	10月16日	臼杵市周辺	126名
E S C A	8月 6日	森林公園内	150名
〃	9月 1～4日	富士山麓	80名
合 計			7,497名

3. 特別普及奨励事業

増加する自転車愛好者の様々なニーズに応え、且つサイクリングイベントの模範、基盤となるよう、地方自治体等と協働し、各大会を以下のとおり開催した。

(1) 蔵王ヒルクライム大会の開催

・開催日 平成23年 5月21～22日

・開催場所 宮城県蔵王町

※東日本大震災の影響により中止

(2) シティサイクリング大会の開催

・開催日 平成23年 9月18日

・開催場所 東京都新宿区（都庁）～ 港区お台場 ～ 新宿区（神宮外苑）

・参加者数 2,244名

(3) 親子ふれあいサイクリング大会の開催

・開催日 平成24年 3月24日

・開催場所 調布市

・参加者数 30名

(4) 自然共生サイクリング大会の開催

・開催日 平成23年 9月 3～ 4日

・開催場所 長野県飯山市斑尾高原

・参加者数 258名

(5) Mt. F u j i エコサイクリング大会の開催

・開催日 平成23年 9月 3～ 4日

・開催場所 静岡県、山梨県富士山麓周辺

※台風第12号の影響により中止

(6) 耐久自転車競技大会の開催

・開催日 平成23年 8月 7日（日）

・開催場所 茨城県下妻市 筑波サーキット「コース2000」

・参加者数 167チーム・746名

4. 自転車公園開場事業

神宮外苑サイクリングコース運営事業

国立競技場敷地内に運営事務所として神宮外苑サイクリングセンターを置き、都心の中心地である神宮外苑の周回コースを毎日曜・祝祭日（年間58回）に自動車の交通規制を実施し、下表のとおり利用者に自転車を無料で貸出し、サイクリングを楽しんで貰うとともに、児童・幼児等を中心に、乗り方教室を開催し、サイクリングの普及啓発に努めた。

また、四谷警察署と共催して春と秋の交通安全自転車教室の開催、地元商店会と連携した自転車関連催事の実施等、自転車に関する情報発信の拠点となるよう啓発活動をおこなった。(延べ利用者数63,707名)

○神宮外苑サイクリングコース利用実績表

開催月	開場日数	利用者数	内 訳		
			貸出車	持込車	自転車乗り方教室
					参加者数
平成23年4月	3	4,708	3,199	1,509	331
5月	7	9,447	7,034	2,413	688
6月	4	5,056	3,743	1,313	407
7月	6	4,678	3,241	1,437	471
8月	3	2,096	1,515	581	227
9月	6	8,952	4,766	4,186	433
10月	6	8,129	6,439	1,690	478
11月	6	7,739	6,395	1,344	437
12月	5	4,617	3,554	1,063	356
平成24年1月	3	1,780	1,282	498	194
2月	4	2,610	1,713	897	281
3月	5	3,895	2,814	1,081	378
合計	58	63,707	45,695	18,012	4,681

◎機械工業事業振興補助事業（競輪補助事業）

1. 自転車乗用に関する調査研究事業

サイクリングを中心とした自転車乗用環境改善を目的に置き、平成23年度は、「地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究」と題して、全国で発行されているサイクリングマップを収集し、観光型、ライド型、観光・ライド複合型、スポーツツーリズム型に分類して評価し、サイクリングマップの在り方の提言及び、ガイド付きツアー、サイクリング観光等の先進事例の紹介等を報告書にまとめ、観光施策に係る部署を中心として関係機関に配布した。

2. 自転車に関する広報事業

自転車乗用人口の拡大を図るとともに、「楽しいサイクリング&正しいサイクリング」を広く普及するため、以下のとおり情報誌「サイクリングジャパン」を年4回発行し、サイクリングに関する様々な情報や各種大会の案内・紹介及び国内自転車メーカー、部品メーカー等の自転車に関する情報を提供した。

特に平成23年度は、自転車に関するルールの詳細解説を連載し、車道走行時におけるスポーツバイクの安全な走り方を啓発した。

サイクリングジャパン 2011 夏号No. 466号発行	24,000部
〃 2011 秋号No. 467号発行	26,000部

〃	2011 冬号No. 468号発行	25,000部
〃	2012 春号No. 469号発行	30,000部

◎自主推進事業

1. ブロック別連絡会議の開催事業

全国7ブロックに所属する各都道府県サイクリング協会の代表者と事業運営の改善のための意見交換、各種情報交換等を行うため、ブロック別に連絡会議を開催した。

・北海道ブロック	平成24年	1月28日(土)～29日(日)	(札幌市)
・東北ブロック	〃	2月10日(金)～11日(土)	(青森市)
・関東甲信越ブロック	〃	2月25日(土)	(港区)
・中部日本ブロック	〃	2月15日(水)	(名古屋市)
・近畿ブロック	〃	2月18日(土)～19日(日)	(大阪市)
・中国・四国ブロック	〃	2月16日(木)～17日(金)	(松山市)
・九州ブロック	〃	2月4日(土)～5日(日)	(福岡市)

2. 無料法律相談の開設

本協会に顧問弁護士を置き、賛助会員のサイクリングの諸活動、日常生活において生じるトラブルの法律的事案に関し、無料の相談室を開設した。

3. 指導者登録証作成交付事業

本協会が認定したサイクリングインストラクターの新規登録者及び登録更新者並びにサイクリングディレクター(1級・2級)の登録更新者に係る登録・更新を行うとともに、それらの者に対して登録証を発行した。

4. サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業

地域観光にサイクリングを取り入れ、初心者から上級者までが、安全に安心して参加できるサイクリングツアーの企画を旅行会社が推進できるよう、情報提供、自転車メンテナンス、走行管理、レスキュー体制、保険制度の充実等、スムーズな運営を確保するための基盤を整備した。

5. サイクリング普及推進事業

地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、地方協会が中心となって実施する計画事案に積極的に助言、指導を行った他、実施大会の参加者募集及び設営、受付等の開催業務を支援した。

6. 交通安全推進事業(自転車安全乗用教室等への講師派遣)

行政、小学校等の要請により、自転車の乗り方、自転車の交通安全等について普及啓発するため以下のとおり自転車安全乗用講習会、教室等に講師を派遣した。

(1) 行政関係

- ア 東京都青少年・治安対策本部 交通安全課 事業推進係
 - ・平成23年度第2回区市町村交通安全教育担当者実務講習会
 - ・平成24年3月14日(水)
 - ・大田区産業プラザ 1階 大展示ホール
 - ・参加者数 50名
- イ 大田区自転車研究会
 - ・自転車交通安全教室
 - ・平成23年 9月22日(木)
 - ・大田区大森北グリーンベルト
 - ・参加者数 30名

(2) 教育関係

- ア 港区立神応小学校
 - ・自転車安全乗用教室
 - ・平成23年6月4日(土)
 - ・神応小学校校庭
 - ・参加者3年生16名、保護者2名
- イ 江東区立有明小学校
 - ・自転車安全乗用教室
 - ・平成23年6月28日(火)
 - ・有明小学校講堂
 - ・参加者3年生30名

7. 耐久サイクリング in 袖ヶ浦大会の開催事業

サイクリング普及推進事業の成果として、地元から要請のあった袖ヶ浦サーキットにおいて、本協会の長年に亘って蓄積されたサイクルスポーツイベント開催のノウハウを全て投入し、サイクルレースのビギナーからベテランまでを対象にし、新規の耐久サイクリング大会を以下のとおり開催した。

平成23年11月13日(日)

参加者数 577名

※開催日は、3月11日の東日本大震災の影響を受け、当初予定の5月29日(日)を11月13日(日)に変更して開催した。

8. 賛助会員拡大推進事業

現在稼働中の賛助会員管理システムの基盤設備を強化することにより機能を有効に活用し、賛助会員の個人や法人単位以外に新たに団体等の賛助会員の入会対象を広げ、更なる賛助会員の拡大に努めた。

◎協力事業

1. 運営強化協力事業 他

(1) サイクリングターミナル関係事業

サイクリングターミナルの共通する諸問題及び更なる利用促進を図るため、東京都港区赤坂の日本自転車会館において以下のとおり総会を開催し、今後におけるサイクリングターミナルの諸事業を協議するとともに情報交換を行った。

・平成23年 7月 8日(金)

(2) サイクリングイベント関係事業

ア 運営強化協力事業

毎年行われる以下の各大会の運営において、企画立案、財政面及び開催に対する技術面についての助言を行い、各実行委員会に人材を派遣し運営全般に関わる指導を行った。

①第26回全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会

平成23年 8月27日(土)～28日(日)

参加者数 3,792名

②第12回ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会

平成23年 6月18日(土)～19日(日)

参加者数 2,011名

イ JCA全日本ヒルクライムシリーズ運営事業

本協会が主催・共催する「日本の蔵王ヒルクライム・エコ大会」、「全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会」、「美ヶ原高原自転車レース大会」に秋田県由利本荘市矢島町が主催する「矢島カップ・Mt 鳥海バイシクルクラシック大会」の4戦中3戦に参加した者をクラスごとに順位付けし、チャンピオンとなった男女1名づつを翌年の8月末にハワイで開催される「サイクル・トゥ・ザ・サン大会」に招待する事業を「JCA全日本ヒルクライムシリーズ」として運営した。

シリーズ戦参加者数 3戦成績獲得者 男子 152名 女子 13名

参考 第1戦成績獲得者 男子 333名 女子 18名

2. その他の事業

(1) 交通安全連携

ア 「自転車安全教育推進委員会」

平成24年2月17日(金)

自動車会館1階会議室

イ 「全国子供自転車大会」

平成23年8月3日(水)

東京ビッグサイト

(2) サイクリング観光施策情報収集

「スポーツツーリズム推進連携組織に関する勉強会」

第1回 平成23年11月30日(水)

早稲田大学早稲田キャンパス 大隈記念講堂B1F小講堂

第2回 平成23年12月27日(火)

早稲田大学早稲田キャンパス 大隈記念講堂B1F小講堂

第3回 平成24年1月30日(月)

品川シーサイド楽天タワー楽天株式会社 会議室

(3) 公益法人改革における移行準備事業

公益法人制度改革に伴い、「公益法人改革におけるJCA組織検討委員会」における答申書を受け、新法人への移行に向けて多方面からの情報収集等を行った。

【会 議】

1. 理事会

*第134回理事会

日 時 平成23年 6月27日(月) 午後4時～午後7時30分

場 所 日本自転車会館 2号館8階会議室

議 案 第1号議案 公認指導者資格認定規程の一部改正(案)について

第2号議案 平成22年度事業報告(案)について

第3号議案 平成22年度決算報告(案)について

第4号議案 平成23年度(財)JKA補助事業の実施について

そ の 他

*第135回理事会

日 時 平成23年 7月5日(火) 午後4時～午後4時15分

場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室

議 案 第1号議案 会長・副会長・専務理事の互選について

第2号議案 評議員の選出(案)について

*第136回理事会

日 時 平成23年12月16日(金) 午後4時～午後5時

場 所 相互永田町ビル 5階会議室

議 案 第1号議案 賛助会費の改定(案)について

第2号議案 「賛助会員規約」の改訂(案)について

第3号議案 「JCAサイクリスト誓言」の制定(案)について

第4号議案 「業務提携契約書」「JCA助成規程」の改正(案)について

そ の 他

*第137回理事会

日 時 平成24年3月23日(金) 午後4時～午後5時30分

場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室

議 案 第1号議案 評議員の選出(案)について

第2号議案 平成24年度事業計画(案)について

第3号議案 平成24年度収支予算(案)について

第4号議案 最初の評議員の選任方法(案)について

そ の 他

2. 評議員会

*第83回評議員会

日 時 平成23年 6月27日(月) 午後1時~午後2時30分
場 所 日本自転車会館 2号館8階会議室
議 案 第1号議案 理事、監事の選出(案)について
議 題 第1号議題 平成22年度事業報告(案)について
第2号議題 平成22年度決算報告(案)について
そ の 他

*第84回評議員会

日 時 平成24年3月23日(金) 午後1時~午後2時30分
場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室
議 案 第1号議案 監事の選出(案)について
第2号議案 最初の評議員の選任方法(案)について
議 題 第1号議題 平成24年度事業計画(案)について
第2号議題 平成24年度収支予算(案)について
そ の 他